

## 平成29年度 国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	1	年次	2
使用教科書	「明解国語総合」(三省堂)						
副教材等	「カラー版新国語便覧」(第一学習社)						

## 1 担当者からのメッセージ

「温故知新(おんこちしん)」という言葉があります。古典など人類の過去の経験の蓄積の中にこそ未来につながる革新のヒントがあるというのです。また「不易流行(ふえきりゅうこう)」という言葉もあります。真に大事なことは形を変えても過去から未来へと脈々と伝わり続けるものだということでしょうか。「姨捨山(おばすてやま)」のような説話・伝説は世界中に存在し、老人の知恵のありがたみを伝えています。いや、我々現代を生きる者が古典に学ぶことの意義は、わざわざ長々と説明するまでもなく、古典の作品の数々が、数百年以上の長い年月を越えて今に残っているという事実が雄弁に語っているのではないのでしょうか。

1年生の授業では、言葉遣いや文法、服装・髪型が異なっても人間の営みや気持ちには通じるところが多いことを分かってもらえたことと思います。昔の人を少し身近に感じられるようになったことでしょう。でも、古典の仮名遣いや文法は苦手・・・まだそう感じていますか？仮名遣いや文法も古代から少しずつ変化して現代に至っていて、現代語の知識が古典にうまく利用できることや、古典の言葉がそのまま今も残り、皆が普通に使っているものさえあることも学びました。正確には読めなくても、皆さんの頭の中には古典の知識が記憶されています。それがこれからの人生で役に立つこともきっとあるでしょう。トラウマやアレルギーなどという苦手意識を持たずに、もっと古典の世界に興味を持ってもらいたいと願っています。

2年生の授業では日本の古典と中国の古典である漢文を学びます。筆者の思いや古人の知恵、物語の登場人物の心情などを、想像力を駆使して作品の世界に没入しながら理解・共感して行ってほしいと思います。文法の学習も続けます。昨年度と同様に、なるべく丸暗記ではない、現代にも役立つ知識を中心に学んでもらえるように考えていきます。教科書・ノートに加えて「興味」を持参して受講してください。

## 2 学習の到達目標

- ・ 古典としての古文と漢文を読む能力を養っている。
- ・ 古典についての関心や理解を深めることによって、ものの見方を広め、感じ方や考え方の幅を広くし、人生を豊かに生きる態度が身についている。
- ・ 古典に関連する文章を読むことによって我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しみ、古典に学ぶ態度が身についている。

### 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度			d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	古典の学習に興味を持ち、古典の世界についての理解を深めようとする。古典を読む楽しさを味わうとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めている。			古典の知識をふまえて文章を的確に読み取り、その価値を考察したり、関心に応じて更に幅広い読書につなげたりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化や言葉の特徴、きまりなどの理解を進め、知識を身に付けている。
主 た る 評 価 方 法	授業の受け方 ノート・提出物等の記述の点検			授業中の発表、ノート・提出物等の記述の内容の点検 定期考査	授業中の発言、ノート・提出物等の記述の内容の点検 定期考査 小テスト
<p>上に示した観点に基づいて、学習単位ごと・学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。評価は学習内容に応じて、それぞれの観点毎に適切な割合を案分して行います。</p>					

### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a			d	e		
1 学 期	うたう心	教材: 『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』 (各歌集の特徴を比較しながら概略的知識を学ぶ。各歌の成立事情・表現技法・込められた心情を理解する)  文法等…文語の動詞の活用(後半)	○			◎	○	a: 各歌集の概要と特徴の違いを理解している。動詞の活用について発展的に学ぼうとしている。  d: 各歌の主題を深く理解し、情景を思い浮かべられる。  e: 語句や歴史的仮名遣いなどに注意して、正確に音読し、意味を把握している。動詞の活用の意味と用法を理解している。	a, d: 授業の受け方と提出物の点検 定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	平家物語	教材: 「木曾の最期」 (軍記物語らしい表現を味わいながら武士の生き方について考える。	○			◎	○	a: 武士の生き方について考えを深めている。 d: 戦いの様子と人物の心情を読み取っている。 e: 古語や敬語法について理解し、適切に現代語訳できる部分を増やしている。	a, d, e: 授業の受け方と提出物の点検 定期考査

2 学期	漢文の世界へ	教材： 「故事成語」 「虎の威を借る」 「蛇足」 「論語の言葉」 「死諸葛走生仲達」 (漢文の特色を知り きまりを理解する。 格言や故事、史話を 読んで、漢文の世界 に親しむ。論語に生 き方を学ぶ)	○			◎	○	a:古代の中国と日本の関係につ いて理解する。漢文が日本語や 日本文化・思想に与えた影響に ついて考察する。 d:漢文の基本的な構造を理解し、 正確に訓読できる。 e:漢文の基本的な構造について 理解する。漢文訓読に関する基 本的な知識について理解する。 諸子百家について理解する。	a、d: 授業の受け方と 提出物の点検 定期考査 e:小テスト及び 定期考査
3 学期	物語を味わう	教材： 「光源氏の誕生」 「若紫」  (物語の世界に親 しみ、文章を味わ う。登場人物の心 情や行動につい て考える) 文法等…文語の形 容詞・形容動詞の活 用	○			◎	○	a:登場人物の相互の関係と、 人々の心情と言動を積極的に 読み取ろうとしている。 d:踏まえられた故事を理解した 上で、登場人物の相互の関係、 人々の心情と言動、交情、につ いて読み取り、それを表現でき る。 e:文章の形態や文体の特色、古語 について理解している。形容 詞・形容動詞の活用を理解して いる。	a、d: 授業の受け方と 提出物の点検 定期考査 e:小テスト及び 定期考査
	漢詩の世界	教材： 「唐詩」 (漢詩を読み、簡潔 で含蓄のある表現 を味わい、豊かな詩 情や明確な主張を 読み取る)	○			◎	○	a、d:各詩人の生きた時代に関心 を持ち、語彙や句法に注意しな がら訓読し、それぞれの詩がど のようなことや心情を表現し ているかを読み取り、味わい、 自己の表現力の向上に役立て ている。 e:漢詩文に独特の語彙、および、 句法・詩形・押韻等を確認しつ つ訓読し、現代語訳している。	a、d、e: 授業の受け方と 提出物の点検 定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 d:読む能力 e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。